



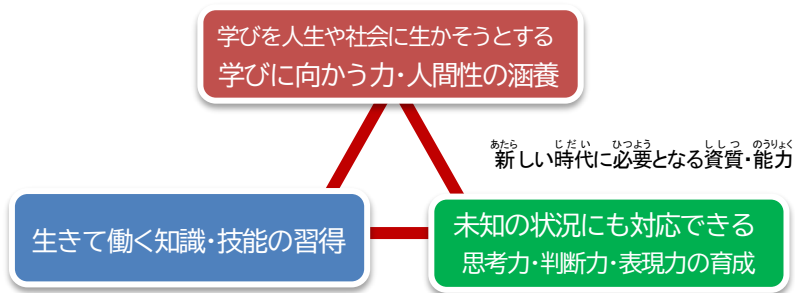
通知表（あゆみ）の内容、様式が変わります

新しい通知表は、市内全ての小学校で統一した様式になります。

【学習のようす】

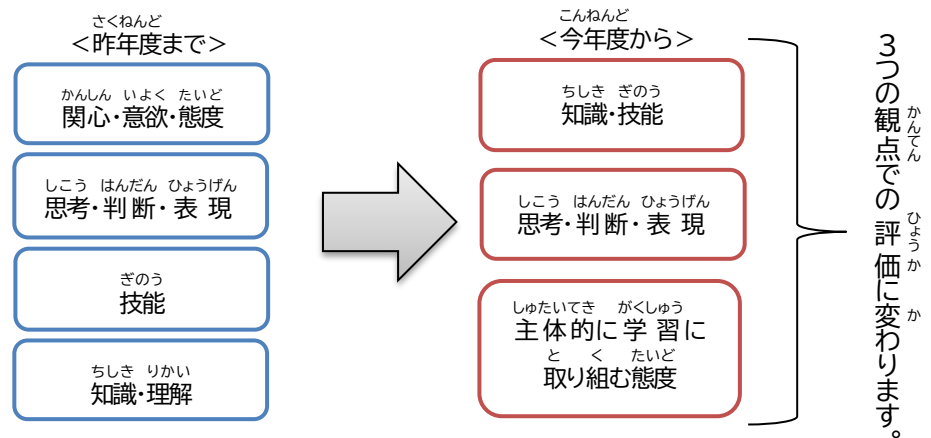
子どもたちが生きていくこれからの社会は、情報化、グローバル化等が一層進んでいき、変化が激しく、先行きが不透明で予測困難な時代であると言われてしています。

このような時代をたくましく生き抜くために、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動する力を育てていくことが求められており、小学校では今年度から改訂された学習指導要領に基づいた授業が全面的に実施されています。



新しい学習指導要領では、子どもたちに身に付いた力（新しい時代に必要となる資質・能力）を、全ての教科において、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価することになります。

このことに伴い、通知表（あゆみ）の「学習のようす」は、これまでの様式を変え、各教科を「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価することになりました。



例えば国語科では、

漢字の書き取りテストで間違った漢字がたくさんあった。→ 「知識・技能」の評価としては △

テストで間違った漢字を自主的に何度も練習できた。→ 「主体的に学習に取り組む態度」◎ または ○

1つの観点には、音読、作文、漢字、読み取り、書写など、様々な学習活動の結果が含まれています。

学 習 の よ う す		1学期	2学期	↑ 学年末
国語	日常生活に必要な知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に親しんだり理解したりすることができる。			
	筋道立てて考える力や豊かに想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。			
	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、思いや考えを伝え合おうとしている。			
社会	地域の特色と人々の生活との関わりを理解するとともに、情報を調べまとめることができる。	← 1段目 「知識・技能」		
	地域の様子や社会への関わり方について、考えたことを表現することができる。	← 2段目 「思考・判断・表現」		
	問題を解決しようとしたり、考え学習したことを生活に生かそうとしたりしている。	← 3段目 「主体的に学習に取り組む態度」		
算数	数量関係や図形の性質を理解し、正しく計算・測定・作図をすることができる。			
	筋道を立てて考えたり、考えたことを表現したりすることができる。			
	粘り強く考え、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			

◎…よくできる ○…できる △…もう少し

※ 3段階で評価します(1年生の1学期と2学期は○, △の2段階)。

※ 音楽の「知識・技能」を評価するための主たる活動は、歌唱、器楽ですが、コロナの関係で指導できていません。その他の活動だけは十分に評価できないため、1学期は全員「○:できる」とします。

※ 「特別の教科 道徳」、「総合的な学習の時間(3年生以上)」、「外国語活動(3, 4年生)」は、文章記述で評価します。

※ 具体的な評価例は、各学年から出される「通知表(あゆみ)について」の便りでご確認ください。

【生活のようす】

「生活のようす」についても、指導要録(お子様の指導の課程及び結果の要約を記録したもの)に記載する「行動の記録」の項目に合わせて10項目での評価となります。(例) 3, 4年生

生 活 の よ う す	1学期	2学期	学年末
安全に努め、礼儀正しく節度のある生活をするすることができる。			
心身の健康に気を付けたり、運動習慣を身に付けたりして、元気に生活することができる。			
自らの目標をもって進んで行き、最後まで粘り強くやり通すことができる。			
自分の言動に責任をもち、課せられた役割を誠意をもって行うことができる。			
自分でよく考え、課題意識をもって工夫し取り組むことができる。			
相手の気持ちや立場を理解して思いやり、仲よく助け合うことができる。			
自他の生命を大切にし、生命や自然のすばらしさを感じることができる。			
働くことの大切さを知り、進んで働くことができる。			
相手の立場に立って公正・公平に行動することができる。			
約束やきまりを守って、人に迷惑をかけないように生活することができる。			

○…できる △…もう少し 全学年、2段階で評価します。全ての項目に○ または △が付きます。

【出欠のようす】

5月の分散登校…登校しなかった日(4日間)は、「出席停止」扱いです。

4月～6月…発熱による欠席は、「出席停止」扱いです。